



# 浜浦だより

— 第 626 号 —  
 新潟市中央区浜浦町1の1  
 浜浦小学校  
 電話 (025) 266 - 3181  
<http://www.hamaura-city-niigata.ed.jp/>

## 子どもたちへのメッセージ

校長 齋藤 純 一

私から子どもたちにメッセージを伝える機会は、それほど多くありません。ですから、機会が巡ってきた時には、精一杯考えて、準備します。

十一月十八日に、浜っ子フェスティバルが開かれました。詳しくは本号の子どもたちの作文を御覧ください。その閉会式の中で、次の話をしました。

「今回のように『楽しい』と感じることができたのは、そこに至るまでに、友だちと協力して、一生懸命に準備をしてきたからです。単におかしいことをした楽しさではなく、時間をかけて、人と力を合わせてやり抜くと、その先に『とても楽しいこと』が待っているのです。」

それぞれの学級の工夫を凝らしたお店も楽しかったはずですよ。遊ぶことも楽しかったはずですよ。しかし、ここでは、仲間と協働する楽しさを覚えてほしいことを伝えました。

十二月一日は、毎月行われるお話朝会でした。まず、世界地図を見せ、日本、カタール、ドイツ、コスタリカ、スペインの場所を示しました。ワールドカップカタール大会の開催地とグループE（日本が入っていたグループ）の対戦相手です。この地図は、すでに栄養教諭の石黒先生が一階の掲示板に貼っていました。石黒先生の担当する掲示板には、毎月食に関する掲示物が貼り出されます。先月

は世界地図と前述の各国で使われる食材や名物料理が紹介されていました。私がネットで調べた各国の様子とともに、石黒先生が調べた食文化の違いを、改めて紹介しました。

その後、一枚の教室の写真を紹介しました。韓国語で書かれた黒板があり、マスクをした子どもたちが画面を見ています。韓国の子どもたちが、オンラインで交流している場面です。それは、韓国の慶尚北（ジヨクソ）小学校の子どもたちです。そして、交流相手は、浜浦小学校の三年生なのです。十一月二十一日に交流授業を行った時の写真です。韓国の先生が撮った教室の写真の後、私が撮った島先生とアビー先生と、英語で自己紹介する三年生の写真を紹介しました。

私たちが生きている時代より、はるかに国際化する社会を生きていく子どもたちは、様々な国の人と出会い、一緒に仕事をしたり、生活をしたりしていくはずですよ。国が違えば、言葉も、生活の仕方でも、そして考え方も違います。国や民族を越えて、多くの人たちと協働するために、もつと世界に興味をもち、世界を知ってほしいことを伝えました。

これから激動の時代を生きる子どもたちに今、何を伝えなければならぬのでしょうか。次の機会に向け、また考え、準備を開始します。